11年間の要約財務ハイライト(連結)

注) 財務情報に関する詳細は有価証券報告書をご覧ください。(https://ssl4.eir-parts.net/doc/9987/yuho_pdf/S100R3L5/00.pdf)

百万円 1株当たり情報除く

				1株当たり情報除く	
	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	
経営成績:					
売上高	¥ 1,894,594	¥ 1,988,216	¥ 1,969,689	¥ 2,228,331	
経常利益	27,493	35,320	30,093	45,721	
親会社株主に帰属する当期純利益	14,350	21,447	18,920	28,960	
包括利益	24,637	23,601	47,214	31,489	
財政状態:					
純資産	309,827	325,996	367,798	393,948	
総資産	1,014,242	1,027,133	1,086,685	1,178,386	
キャッシュ・フロー:					
営業活動によるキャッシュ・フロー	54,006	△ 41,054	47,209	20,457	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 11,158	△ 12,408	△ 32,624	△ 7,315	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,084	△ 5,169	△ 5,585	△ 7,561	
現金及び現金同等物の期末残高	152,449	93,832	102,860	108,414	
1株当たり情報:(円)					
1株当たり純資産	3,433.84	3,611.37	3,705.12	3,969.08	
1株当たり当期純利益(EPS)	159.19	237.93	190.82	292.13	
経営指標:					
自己資本比率(%)	30.5	31.7	33.8	33.4	
自己資本利益率 (ROE)(%)	4.8	6.8	5.5	7.6	
株価収益率(倍)	22.0	16.8	19.2	13.1	
連結配当性向(%)	31.4	25.0	28.3	23.6	
従業員数(人)	14,842	15,287	15,829	16,208	

注記

- 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。
- 2. 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を2021年度の期首から適用しており、2021年度以降に係る主要な経営指標等については、当該会計基準等を適用した後の指標等となっています。
- 3.2022年度より、受入情報収入等の表示方法を営業外収益から売上高に変更しており、2021年度に係る主要な経営指標等については、当該表示方法の変更を反映した遡及処理後の指標等となっています。

百万円 1株当たり情報除く

						「小コた」同様例へ
2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
¥ 2,126,993	¥ 2,123,997	¥ 2,132,362	¥ 2,213,478	¥ 2,128,218	¥ 2,239,112	¥ 2,314,828
27,764	29,019	36,154	41,467	18,272	23,418	36,376
21,308	18,820	30,204	28,213	7,895	14,393	20,345
17,217	21,974	21,768	27,597	12,010	11,158	19,170
396,496	406,425	401,625	412,708	417,912	418,062	411,525
1,109,012	1,173,326	1,189,238	1,112,507	1,114,421	1,141,717	1,146,097
27,013	98,066	41,751	△ 25,817	15,602	9,520	37,270
△ 5,497	894	1,938	1,199	△ 14,586	1,439	△ 46,361
△ 15,567	△ 12,691	△ 27,261	△ 17,167	△ 7,393	△ 11,599	△ 26,219
114,345	200,609	217,025	175,215	168,818	168,215	132,872
4,097.85	4,284.80	4,390.98	4,618.33	4,675.23	4,749.59	4,970.38
216.92	198.21	322.73	310.26	88.52	163.19	236.47
35.7	34.6	33.7	37.0	37.4	36.6	35.9
5.4	4.7	7.5	6.9	1.9	3.4	4.9
16.8	22.2	19.9	12.7	48.9	22.2	14.1
24.9	32.3	21.4	23.2	81.3	44.1	30.4
16,456	15,816	15,585	15,477	15,041	14,032	13,429

セグメント別概況

2023年3月31日現在のセグメント分類による

医薬品卸売事業

主要グループ会社 (株)サンキ、(株)アスティス、(株)翔薬、(株)スズケン沖縄薬品、ナカノ薬品(株)、(株)スズケン岩手、(株)エス・ディ・ロジ

機会とリスク

機会

- ▼ スペシャリティ医薬品の市場拡大
- ❷ 後発医薬品の使用拡大
- ▼ 医療・介護分野におけるデジタル 技術の普及
- ♥ アジアにおける医療制度改革

リスク

- ▲ 国民医療費の増大抑制による市場 成長の停滞
- ▲ 医薬品流通、販売活動の変化 (ガイドラインへの対応・遵守)
- ▲ 流通在庫管理の高度化
- ▲ 異業種の参入による競争激化
- ▲ 自然災害、パンデミックの発生

スズケングループの強み

- 安心・安全かつ安定的な医薬品流通体制
 - 地域密着の全国展開
 - スペシャリティ医薬品のトレーサビリティシステム「キュービックス」の展開
 - グローバル基準に準拠した高い流通品質
- 顧客との強固な関係
 - 「スマイル活動」による顧客との信頼関係
 - 医療機関、保険薬局、医療従事者とのネットワーク
 - 安定した医療用医薬品の売上高とシェア 医療用医薬品の売上高:1兆9,779億円(2022年度) 国内シェア:22.29%(2022年度)
- 医薬品卸売事業における拠点・車両台数

(2023年3月31日現在)

主な取り組み

機会への取り組み

- ◇ 医療流通プラットフォームの進化
- ☑ 協業によるDXの推進
- ✓ 地域医療連携・地域包括ケアシス テムへの対応
- ✓ 中国・韓国における医薬品流通 事業の展開

リスクへの取り組み

▲ 卸営業体制の再構築

▲ 新たな収益モデルへの変革(取引から取組へ)

医薬品流通の さらなる高品質化・効率化と コスト構造改革に注力

「医療流通プラットフォーム」の進化による、高品質な医薬品流通体制の構築に向けて、スペシャリティ医薬品のトレーサビリティシステム「キュービックス」を375軒の医療機関へ導入しました(2023年3月末時点)。

2022年度は、利益重視の経営に向けた社員の意識改革、受注から納品プロセス改革といった、コスト構造改革に取り組みました。その結果、売上高は、2兆2,269億18百万円(前年度比3.5%増)、営業利益は、270億50百万円(前年度比83.6%増)となりました。

現在、医薬品流通のさらなる高品質化・効率化については、製造業務受託・メーカー物流エリアを併設した、業界初の複合型物流センター「首都圏物流センター」(2024年4月稼働予定)の構築を進め、流通在庫の最適化を目指しています。加えて、協業によるDXの推進に取り組み、デジタルヘルスサービスの普及など、新たな収益モデルの確立に向けて取り組みを進めています。



医薬品製造事業

主要グループ会社 (株)三和化学研究所

機会とリスク

機会

- ▼ アンメット・メディカルニーズへの 対応
- ❷ 製薬企業のアウトソーシングニーズ 拡大
- ❷ 多様なベンチャー企業や新しい 受託業者の増加

リスク

- ▲ 医療費の増大に伴う薬価制度改革
- ▲ グローバル化の進展・競争激化
- ▲ 販売情報提供活動ガイドライン への対応
- ▲ 研究開発活動による環境汚染

スズケングループの強み

- 糖尿病、腎・透析領域におけるプレゼンス
 - 医薬品および診断薬・診断機器の開発・製造
- 効率的かつ高品質な生産技術
 - 高品質な製品を安定供給するサプライチェーンマネジメント体制
 - ■国際的なGMP基準に対応した高度な生産体制
 - 大手製薬企業の受託生産実績
- 医薬品製造事業における拠点

(2023年3月31日現在)

- 医薬品製造工場(熊本)
- 研究所(三重研究パーク)

主な取り組み

機会への取り組み

▼ 糖尿病、腎・透析領域におけるプレ ゼンス向上

リスクへの取り組み

- ▲ グループ機能の融合や協業による 新規ビジネスの創出
- \Lambda 生産拠点の構造改革
- 向けた投資
- ▲ デジタルMRによる活動(eプロ モーション、Web講演会)

処方拡大と生産性向上への 取り組みを一層推進

主力製品である糖尿病治療剤を 中心に、2021年に発売した、二次性 副甲状腺機能亢進症治療薬「ウパシタ 静注透析用シリンジ|の処方拡大に 向けて、当社グループの医薬品卸売 事業と連携した営業体制を強化しま した。また、株式会社三和化学研究所 のサプライチェーン全体を見直し、 構造改革を進め、生産性の向上に努め ました。

その結果、売上高は443億82百万円 (前年度比1.0%増)、営業利益は12億 21百万円(前年度比56.5%増)となり ました。

今後も引き続き、パイプライン拡充 に向けた投資を継続するとともに、当社 グループが持つさまざまな機能との 融合や、協業企業との連携によるアン メット・メディカルニーズ領域への展開 を進めていきます。



セグメント別概況

2023年3月31日現在のセグメント分類による

保険薬局事業

主要グループ会社 (株)ユニスマイル

機会とリスク

機会

- ◇ かかりつけ薬剤師・薬局の推進
- ▼ オンライン診療・オンライン服薬指導など新たな医療体制の確立
- ♥ 電子処方箋の運用開始

リスク

- ▲ 地域の医療提供体制の見直し
- ▲ 服薬状況の把握と継続的服薬指導 の法制化

- ▲ 薬剤師の地域偏在
- ▲ 規制緩和による異業種の参入

スズケングループの強み

- 地域に密着した健康サポート力
 - ●「かかりつけ薬局」と「健康サポート薬局」の2つの機能
 - 処方元の医療機関との強固なつながり
- 地域医療連携を実現させるグループ内連携
 - 医薬品卸売事業、医薬品製造事業、介護事業との連携
- 保険薬局の店舗展開
 - 35 都道府県への展開
 - 地域の保険薬局の業務改善や教育支援
- 保険薬局事業における拠点・認定薬局数 (2023年3月31日現在)

● 保険薬局店舗	5 / / 店舗	
● 健康サポート薬局	22 店舗	
● 地域連携薬局		
● 専門医療機関連携薬局	1 rt 4 ± 4 ± 4	

主な取り組み

機会への取り組み

♥ 地域に選ばれる薬局づくり

◇ 地域医療連携を実践するための 機能の拡充

リスクへの取り組み

▲ グループ薬局の機能強化と薬剤師の質の向上

▲ グループ事業との連携による 新たな付加価値の創出

グループ薬局の基盤強化と 地域医療に貢献する薬局 づくりを推進

2022年4月に株式会社ファーコスと株式会社ミックを統合し、株式会社ユニスマイルを設立しました。統合により、ガバナンスを強化するとともに、電子薬歴や在庫管理システム、業務提携をする株式会社カケハシのシステム導入を進めるなど、サービス向上や効率化に取り組みました。

また、地域医療に貢献できる薬局づくりとして、認定薬局の展開や、当社グループの介護事業との連携およびエンブレース株式会社の医療介護専用コミュニケーションツール「メディカルケアステーション(MCS)」の活用、さらにはラストワンマイルにおける流通の構築など、新たなサービスの提供に取り組みました。

その結果、調剤報酬改定・薬価改定の影響もあったことから、売上高は877億42百万円(前年度比1.2%減)、営業利益は20億34百万円(前年度比11.0%減)となりました。



医療関連サービス等事業

主要グループ会社 (株)エス・ディ・コラボ、中央運輸(株)、サンキ・ウエルビィ(株)、(株)エスケアメイト、ケンツメディコ(株)

機会とリスク

機会

- ✓ 外資系製薬企業の日本への参入
- ♥ 地域包括ケアシステム構築の推進
- ✓ 個別化医療の進展

リスク

- ▲ 医薬品流通におけるGDP準拠の 義務化
- ▲ 物流・運送業界の「2024年問題」

- ✔ 在宅医療・介護ニーズの多様化
- ♥ デジタルヘルスサービスの増加
- ▼ ヘルスケアデータの連携・利活用
- ▲ 異業種の参入による競争の激化
- ▲ 介護市場における深刻な人材不足

スズケングループの強み

- メーカー物流とスペシャリティ医薬品流通におけるノウハウ・実績
 - 物流の共同化による配送の効率化と流通在庫の最適化
 - グローバル基準の品質管理
 - 再生医療等製品の流通プラットフォーム
 - メーカー物流事業受託:46社(2023年3月31日現在)
 - スペシャリティ医薬品流通受託:30社53品目(2023年3月31日現在)
- 多様なニーズに対応する介護サービス
- 医療機器 品質マネジメントシステム「ISO13485」の品質保証
- メーカー支援サービス事業における拠点・車両台数 (2023年3月31日現在)
- 介護事業における拠点

主な取り組み

機会への取り組み

- ✓ 医療流通プラットフォームの構築
- ✓ ワンストップ受託モデルの機能拡大
- 再生医療等製品流通の強化
- ◇ 地域の特性に合わせた介護サービスの展開
- ✓ グループ内連携による地域包括 ケアシステムへの貢献

リスクへの取り組み

▲ 介護人材確保に向けた取り組み

- 交 医療機器・材料製造分野の拡大と 競争力強化
- ✓ デジタルビジネスの推進に向けた 新会社の設立

▲ 介護事故防止や介護職員の負担 軽減

メーカー支援サービスの受託 増と新たなデジタルサービス を創出

2022年度は、当社グループの強みである「医療流通プラットフォーム」による医薬品メーカー物流受託・希少疾病薬流通受託が増加しました。

その結果、売上高は2,286億91百万円(前年度比25.8%増)、営業利益は20億18百万円(前年度比9.1%減)となりました。

また2022年度は、CVCファンドによって2社に出資しました(株式会社おいしい健康、ai6株式会社)。業界が抱える課題解決に貢献するサービスの創出に向けて、さまざまな協業企業と共にデジタル化の取り組みを進めています。2022年3月に設立した2つの情報ビジネスの新会社(株式会社コラボクリエイト、株式会社コラボプレイス)については、国内外のさまざまなデジタルヘルスサービスの総合窓口となり、ワンストップで医療・介護従事者が利用できるポータルサイト「コラボポータル」の開発・普及を進めています。



株式情報

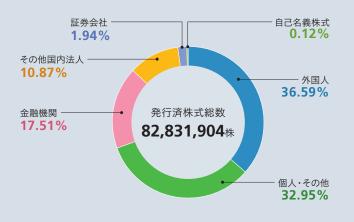
2023年3月31日現在

株価

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
期末株価(円)	4,395	6,410	3,935	4,325	3,630	3,345
期中高値(円)	4,845	6,490	7,040	4,600	4,410	3,985
期中安値(円)	3,435	4,270	3,175	3,595	2,963	3,085
期末発行済株式総数(千株)	103,344	103,344	103,344	103,344	103,344	82,831
期末時価総額(百万円)	454,196	662,435	406,658	446,962	375,138	277,069

株式の分布状況

所有者別株式構成状況



所有者別株主構成状況



大株主の状況

	所有株式数	発行済株式(自己株式を除く)の 総数に対する所有株式数の割合
株主名	千株	%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	10,105	12.21
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS INTERNATIONAL VALUE EQUITY TRUST	4,941	5.97
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	3,336	4.03
別所芳樹	2,441	2.95
伊澤久代	2,404	2.90
別所知佳	2,340	2.82
別所昌樹	2,265	2.73
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE U.S. TAX EXEMPTED PENSION FUNDS	2,129	2.57
スズケングループ従業員持株会	1,953	2.36
鈴木慶子	1,837	2.22
計	33,754	40.80

注)上記のほか、当社が所有している株式100千株があります。

会社概要

2023年3月31日現在

会社情報

社名	株式会社スズケン
本社所在地	〒461-8701 愛知県名古屋市東区東片端町8番地 TEL 052-961-2331
創立	1932年11月
資本金	13,546百万円
従業員数	13,429人(連結)
定時株主総会	6月名古屋にて開催
単元株式数	100株
会計監査人	有限責任監査法人トーマツ
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場 名古屋証券取引所 プレミア市場 札幌証券取引所

ホームページのご案内

IR情報は、ホームページにも掲載しています。 詳しくはホームページをご覧ください。

https://www.suzuken.co.jp/ir



上の二次元コードから、スズケンのIR情報にアクセスできます。

即尽合计一些				
関係会社一覧	資本金	議決権の 所有割合 <mark>※1</mark>		主な事業内容
連結子会社	百万円	%		
株式会社サンキ	1,081	100.0	医薬品卸売事業	中国地域において医薬品等を販売
株式会社アスティス	946	100.0	医薬品卸売事業	四国地域において医薬品等を販売
株式会社翔薬	880	100.0	医薬品卸売事業	九州地域において医薬品等を販売
株式会社スズケン沖縄薬品	12	100.0	医薬品卸売事業	沖縄県において医薬品等を販売
ナカノ薬品株式会社	94	100.0	医薬品卸売事業	栃木県において医薬品等を販売
株式会社スズケン岩手	97	100.0	医薬品卸売事業	岩手県において医薬品等を販売
株式会社エス・ディ・ロジ	10	100.0	医薬品卸売事業	グループ内物流業務の受託等
株式会社三和化学研究所 <mark>※2</mark>	2,101	100.0	医薬品製造事業	医療用医薬品等を製造
株式会社ユニスマイル	382	100.0 (100.0)	保険薬局事業	医療用医薬品の調剤等
株式会社エス・ディ・コラボ	51	100.0	メーカー支援サービス	希少疾病用医薬品の流通等
中央運輸株式会社	99	100.0	メーカー支援サービス	製薬企業等の物流受託
サンキ・ウエルビィ株式会社	50	100.0 (100.0)	介護サービス	介護サービスの提供等
株式会社エスケアメイト	50	100.0	介護サービス	介護サービスの提供等
ケンツメディコ株式会社	10	100.0	医療機器製造	医療機器を製造
株式会社ライフメディコム	10	100.0	その他	病医院への医療情報誌の発刊等
その他35社		_	_	_
持分法適用関連会社		%		
上薬鈴謙滬中(上海)医薬有限公司	84百万元	t 49.9	医薬品卸売事業	中国 上海市において医薬品等を販売
株式会社 EPファーマライン	100百万円	49.0	DIサービス (コンタクトセンターサービス)	コールセンター業務等の業務委託
株式会社ポクサンナイス	3,604 百万寸	7オン 45.0	医薬品卸売事業	釜山広域市、ソウル首都圏を中心に 医薬品等を販売

^{※1} 議決権の所有割合の()内は、間接所有割合で内数です。

^{※2} 特定子会社に該当しています。



株式会社スズケン

〒461-8701 愛知県名古屋市東区東片端町8番地 https://www.suzuken.co.jp